Vestax

Professional Mixing Controller

PMC 17A

取扱い説明書

ベスタクス株式会社
〒154 東京都世田谷区上馬2-37-1
電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-17A プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機はイギリス、ドイツ、イタリア、日本などのクラブ／ディスコといった現場からの要望により、企画・開発されたスタンダードタイプのDJミキサーです。コンパクトな外観ながら、多機能・多入力を実現しています。　本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

VESTAX PMC-17の特長

●各プログラムチャンネル(PGM1, PGM2)にPHONO1系統、LINE2系統、サブチャンネルにはPHONO 1 系統、LINE 1 系統、MAIN MIC 1系統の入力を装備、それぞれのプログラムには、3バントEQ、バランスコントロール、トリムコントロールを装備し、細かい音づくりが可能です。また、インプットフェーダーヴォリュームには60㎜のフェーダーヴォリュームを使用しており、テクノ、トランス、ハウスといったロングミックスを要求されるジャンルに最適です。

●MICチャンネルにはMIC1, MIC2, MIC3の3系統を装備、HI, LOWの 2 BANDイコライザーにより、LOW PASS, HI PASS等の音質補正が行えます。

●各チャンネルにエフェクトセンドスイッチを装備、2 IN−2 OUTステレオのセンド／レシーブでディジタルディレイ、リバーブ等の多彩なエフェクトテクニックを駆使できます。

●長年の経験とテータにより作られたクロスフェーダー、インプットフェーダーは、過酷なスクラッチにも耐える耐久度とカーブを持っています。もちろん、今や世界中のミキサーメーカーが採用しているベスタクス·デタッチャブル·フェーダーシステムによりメンテナンスも容易です。

●各プログラムチャンネルのインプットフェーダーはデタッチャブル方式になっており、別売りのロータリーフェーダーユニットに交換することができます。これにより、本機をUSハウススタイルのDJミキサーに変えることができます。

安全上のご注意

●本機はACアダプター専用です。交流電源や他の異なる電圧の直流電源に、直接つないで使用することはできません。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くと、コードを傷めてしまいます。

●水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。

●ビニールなどの被膜が切れたり、擦れたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また本機内部に水などの液体や可燃物およびピンなどの金属類を入れないようにご注意下さい。感電や故障の原因となります。

●本機外装カバーを取り外して、内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災について、当社はその責任を負いません。

アフターサービス

1.本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載事項をご確認の上、大切に保管して下さい。
2.保証期間中は保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。
3.保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

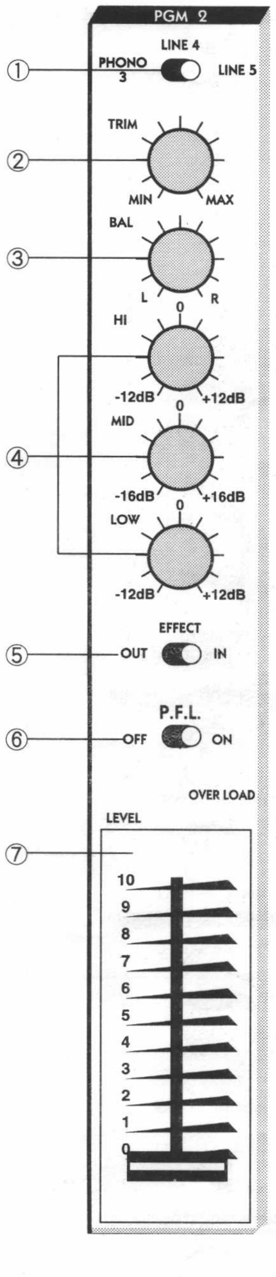
設置上の注意

常温（5~35℃）で、通気が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。また、アルコールやシンナーなどの溶剤で塗装面を拭かないで下さい。塗装が剥げることがあります。

ご注意

本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーは消耗部品ですので、保証の対象外となります。したがいまして、消耗部品の交換につきましては、実費を請求させていただきます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合は、お買い上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。

プログラムインプット部

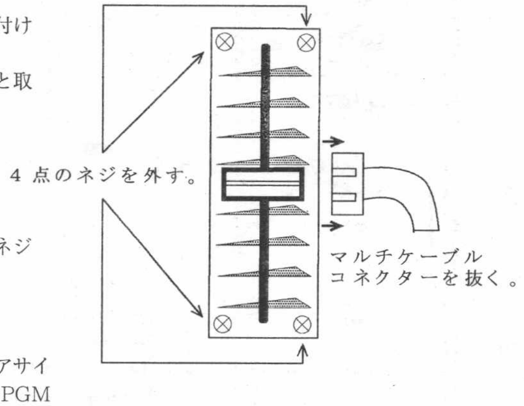


プログラムインプット部

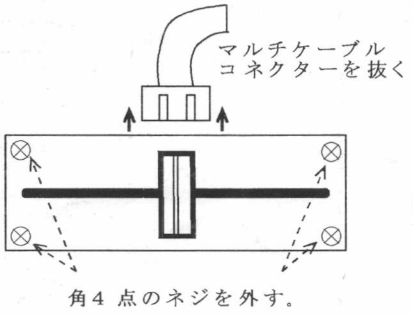
1. **インプットセレクター**
   各プログラムの入力をPHONO 1系統、LINE 2系統から設定します。
2. **トリムコントロール**
   各プログラムの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを7~8の位置にセットして、レベルメーターが0dB位まで振れるようにセットしてください。
3 **バランスコントロール**
   各プログラムのL/Rバランスを調整します。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生ずる、L/Rバランスの不良を補正することもできます。
4. **EQ (HI, MID, LOW)**
   各プログラムの音質を調整する、3バンドイコライザーです。各バンドは、次の特性を持っています。

HI	8kHz	±12dB	シェルビングタイプ
MID	500Hz	±16dB	ピーキングタイプ
LOW	80Hz	±12dB	シェルビングタイプ

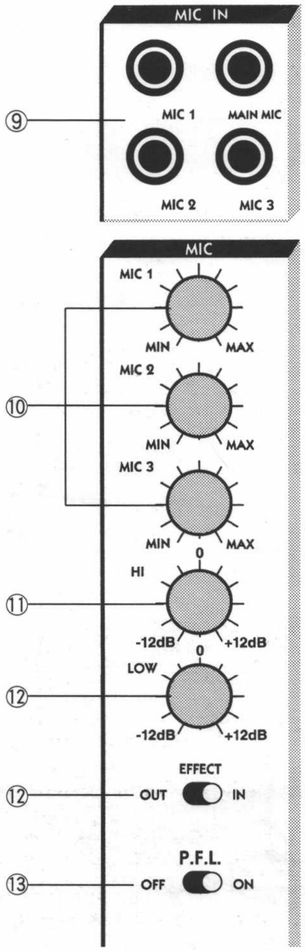
5. **EFFECTスイッチ**
   各プログラムの信号をEFFECTセンドに送るかどうかを設定します。ONでプログラムの信号が、EFFECTセンドへ送られます。
6. **P. F. Lスイッチ(PRE FADER LISTENスイッチ)**
   各プログラムにおけるインプットフェーダー前の信号をモニター部にアサインするスイッチです。ヘッドフォンでプログラムの入力をモニターする際に、このスイッチを押して下さい。
7. **インプットフェーダー**
   各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいインプットフェーダーユニット、“IF-R”に交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。
   - ●フェーダーユニットパネル取り付けネジ(4本)を外します。
   - ●フェーダーユニットをパネルごと取り出します。
   - ●フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
   - ●新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み取り付けネジでパネルを固定します。



8. **クロスフェーダー**
   左側に移動するに従いPGM 1 にアサインした音が、右側に移動するに従いPGM 2 にアサインされた音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、交換用クロスフェーダーユニット、“CF-R”に交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。
   - ●フェーダーユニット取り付けネジ(4本)とノブを外します。
   - ●フェーダーユニットを取り出します。
   - ●フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
   - ●新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み取り付けネジでパネルを固定します。



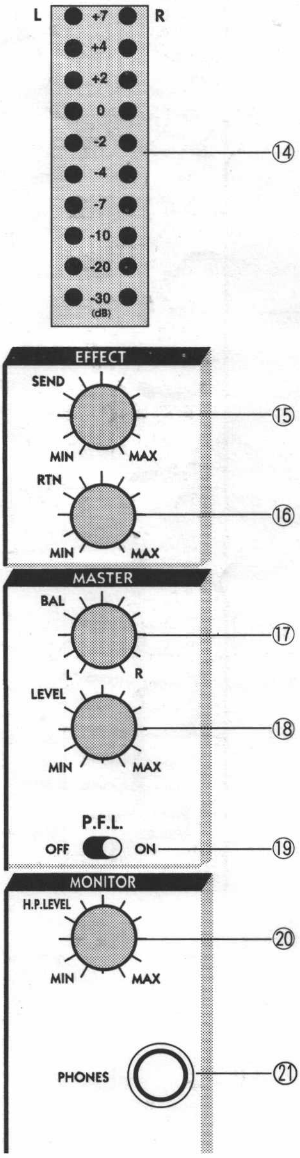
マイク部



マイク部

9. **MICインプットジャック(MIC 1, 2, 3, MAINMIC)**
MIC 1, 2, 3, MAIN MICの入力端子です。なお、MAIN MICの入力端子はSUBcHの入力端子になりますので注意してください。
10. **マイクレベル**
3系統ある各マイクレベルを独立して調整します。
11. **マイクEQ(HI, LOW)**
マイクの音質をHI／LOWの2バンドで調整します。
12. **EFFECTスイッチ**
MICチャンネルの信号をEFFECTセンドへ送るかどうかを設定します。ONでそのプログラムの信号が、EFFECTセンドへ送られます。
13. **P. F. L スイッチ(マイクチャンネル部)**
MICcHに入力された信号をモニター部にアサインするスイッチです。ヘッドフォンでモニターする際には、このスイッチをONにしてください。

マスター部

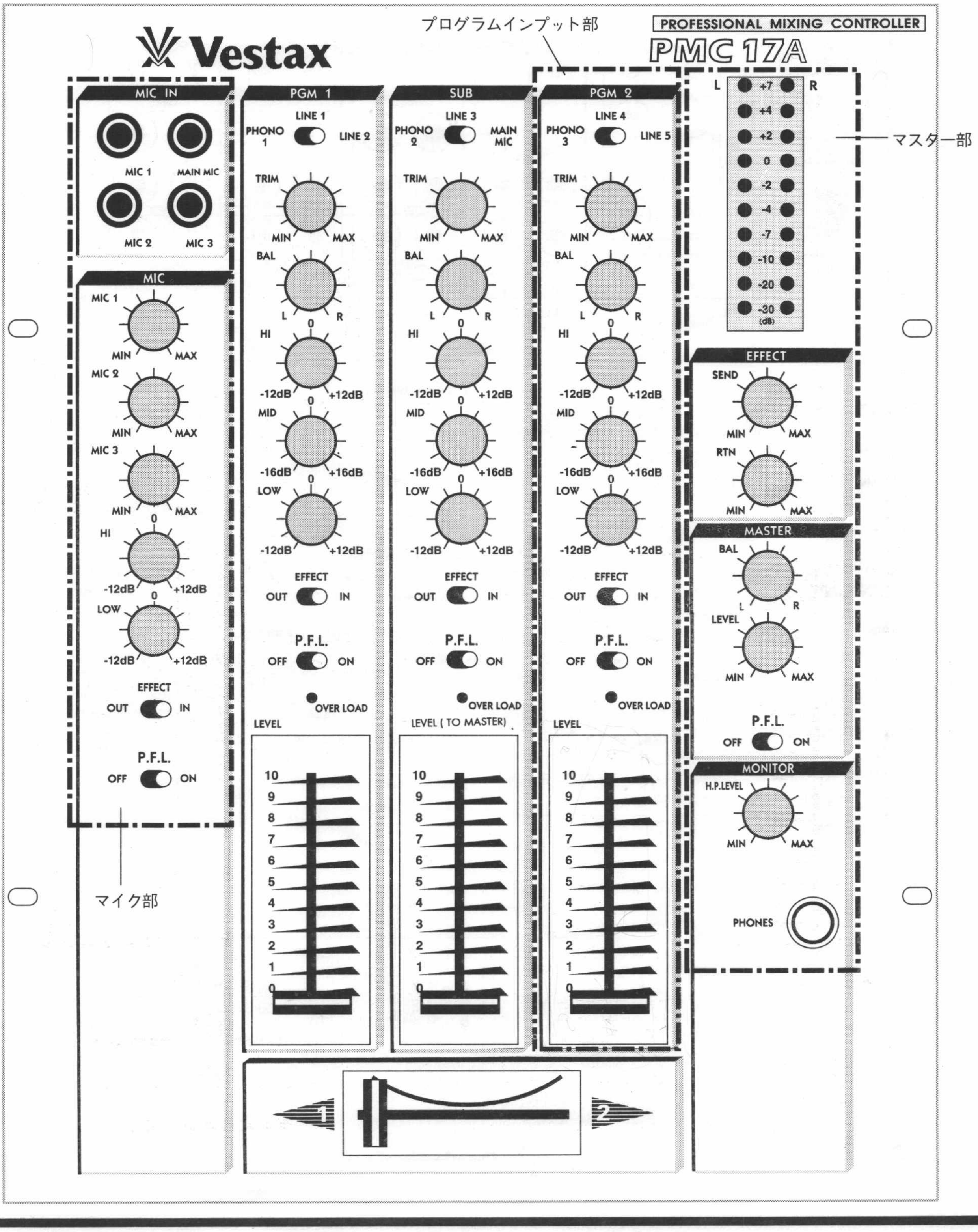


マスター部

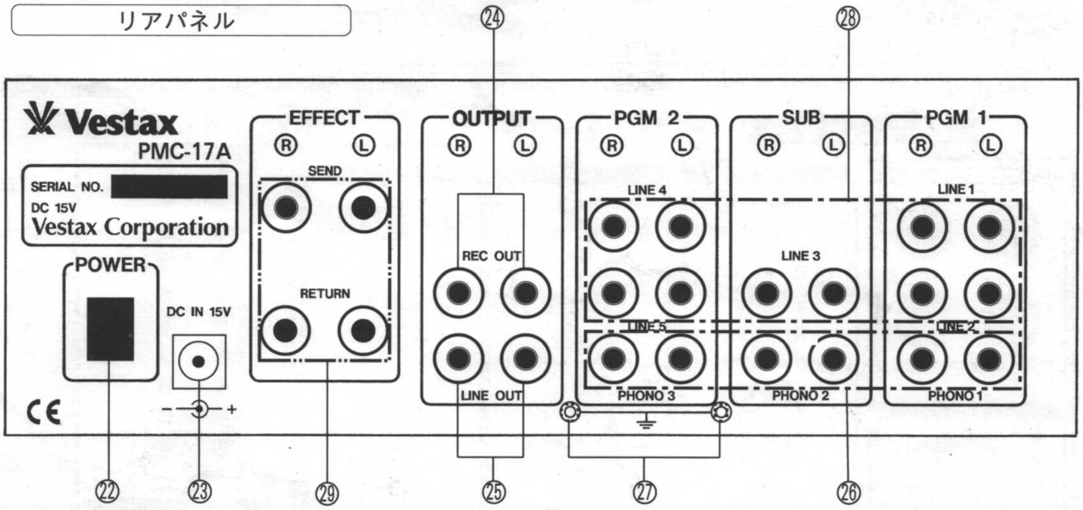
14. **マスターアウトレベルメーター**
LEDバーグラフにより、L, RcHから出力される信号レベルを表示します。
15. **EFFECTセンドレベル**
EFFECTセンドから出力される信号レベルを調整します。出力される信号は、EFFECTスイッチ(5)で選択します。
16. **EFFECTリターンレベル**
EFFECTリターンに入力される信号レベルを調整します。サブのライン入力としても使うことができます。
17. **マスターバランスヴォリューム**
LINE OUT出力のLch、Rchのバランスを調整します。
18. **マスターレベルヴォリューム**
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。
19. **P. F. Lスイッチ(マスターアウト部)**
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号をモニター部にアサインするスイッチです。ヘッドフォンでモニターする際には、このスイッチをONにしてください。
20. **H. Pレベル(ヘッドフォンレベル)**
ヘッドフォンジャックに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。
21. **ヘッドフォンジャック**
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

各部の名称とはたらき

トップパネル



リアパネル



22. パワースイッチ
電源のオン／オフスイッチです。オンのときにマスターアウトレベルメーターの最下位のLEDが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。

23. DCインプットジャック
付属のACアダプター(DC-15)を接続して下さい。

24. RECOUT
録音用の出力端子です。外部のテープデッキ、DAT、MDなどの入力端子に接続して下さい。また、サブ出力としてメイン出力とは別に出力が必要な際にもお使い下さい。なお、この端子からの出力される音にはマスターレベルヴォリュームハ効きません。

25. LINEOUT
マスター出力の端子です。パワーアンプ、プリメインアンプ等の入力端子に接続して下さい。

注意：お持ちのアンプにPHONO入力端子が付いている場合は、LINE OUTをPHONO入力端子に接続しないで下さい。PHONO入力端子にはPHONOアンプが内蔵されておりますので、音が割れたり、歪んだりしますのでご注意下さい。

26. PHONO INPUT
PGM1, PGM2, SUBcHのターンテーブル用入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。なお、MCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要です。

27. クランドターミナル
ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

28. LINE INPUT
PGM1, PGM2, SUBcHのラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、DAT、MD等を接続してください。

29. EFFECT SEND／RETURN
外部エフェクター(ディレイ、リバーブ)等の入力をSENDに、出力をRETURNに接続してください。ステレオイン／ステレオアウトだけでなく、モノイン／ステレオアウト、モノイン／モノアウトのエフェクターにも接続が可能です。モノラルでご使用の際は、L端子をお使い下さい。

主な仕様

●定格入力レベル／インピーダンス	
PHONO	-42dB／470k
LINE	-10dB／47k
MIC	-42dB／303k
EFFECT RCV	-10dB／47k
●定格出力レベル／インピーダンス	-
LINE OUT	-4dB／10kΩ 以上
REC OUT	-10dB／10kΩ 以上
EFFECT SEND	-10dB／10kΩ 以上

●周波数特性	20Hz - 20kHz (+0, -3dB)
●S／N比	-80dB以上
●外形寸法(W×H×D)	270×80×353mm